

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	職員の死生観が確立されておらず、看取りに対し不安感のみが先行している。最期を迎えようとしている方、その御家族様と一緒に向き合うことの必然性を理解していきたい。	看取りに対する知識を得ることで怖さや不安感を取り除き、日常の介護の延長上にあることを理解する。	母体である法人の協力を仰ぎながら、終末期の状態の変化、介護職として身体的・精神的に行えること・ご家族のサポートについて勉強していく。	12ヶ月
2	35	地震・火災時の防災訓練を利用者様と一緒にやっているが、夜間の一人での対応や避難経路の確保など体で身につけたい。	確実な避難誘導により、利用者様の安全を確保する。	火災通報装置の仕組みの知識習得。月に一度の防災訓練の実施により職員・利用者様が確実に習得する。マニュアルも具体的なものを作成していく。	12ヶ月
3	36	排泄の確認の際の声かけに配慮が足りなかったり必要以上のケアにより羞恥心をあおってしまうことがある。	一人ひとりの人格の尊重を基本に、尊厳を守っていく。	ケアだけに着目してしまわず、ご本人の羞恥心も考慮した接し方をしていく。居室入室時の声かけ、個人ファイルの守秘義務もひき続き徹底していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。